

2026 年 8 月 26 日

—最大 40 台のヒューマノイドロボットが稼働—

AI 導入加速に向けて、業界を越えた民間企業のみで運営する**日本初※フィジカル AI 学習データの収集拠点****「J-HRTI 関東データファクトリー」本格稼働開始**

ものづくり商社のリーディングカンパニーである株式会社山善（本社：大阪市西区、代表取締役社長：岸田貢司）が参画するコンソーシアム「J-HRTI（Japan Humanoid Robot Training & Implementation／ジェイハーティ）」は、日本初※となる民間企業のみで運営するヒューマノイドロボットの学習データ収集拠点「J-HRTI 関東データファクトリー」を、千葉県習志野市内に開所し、本日 2026 年 8 月 26 日より本格稼働を開始いたします。



本施設の最大の特長は、ヒューマノイドロボットを産業現場で活用するために、データを継続的に更新・改良し、進化し続ける仕組みを民間企業が共同で推進する点です。業界を越えた企業が連携し、製造・物流などの現場で活用できる「国産フィジカル AI データ」を収集・整備します。さらに、導入後の運用で得られる作業データや担当者の知見も取り込み、学習データに反映していくことで、データの品質と適用範囲を拡張し、ヒューマノイドロボットの実務精度を高め続けます。

日本のものづくり産業は、少子高齢化に伴う労働人口の減少により、深刻な人手不足に直面しています。特に「身体労働の不足」は、テキストや画像を扱う生成 AI では解決できません。特にものづくりの現場では、人の動作を前提に設備や導線が設計されているため、従来型ロボットでは柔軟な対応に限界があります。こうした状況を受け、「機体を動かし、モノをつかみ、作業をこなす AI」＝フィジカル AI を搭載したヒューマノイドロボットの社会実装が期待されています。

一方で導入に向けては、ヒューマノイドロボットが産業現場で“実際に働く”ために、人の作業動作を高精度に学習するためのデータを大量に蓄積する必要があります。しかしそのためには、専用設備・人員・ノウハウ・資金を要し、単独企業での取り組みには限界があります。本施設は、この課題を業種横断の「共創」により解決するために設立されました。

本施設では、最大 40 台のヒューマノイドロボットとオペレーターが常駐し、模倣学習の“元データ”を生成する「ロボットエリア」、動作映像・関節データを専門スタッフが整備し、AI が理解できる学習データへと変換する「アノテーションエリア」、そして「テストエリア」では、参画企業の産業現場での実環境を再現し、導入に向けた検証・調整（PoC）を短いサイクルで反復することでデータを収集します。

加えて J-HRTI では、整備した学習データを参画企業各社が共通基盤として活用できるようにし、各社が活用するほど、現場からの追加データや改善知見が J-HRTI に集まり、良質な学習データが“共通資産”として蓄積されていく構造をつくります。各社の現場で生まれる多様な知見が相互に還流し、データが増えるほど価値が高まる——この循環そのものが、「国産フィジカル AI データのエコシステム構築」です。ヒューマノイドロボット本体の性能競争にとどまらず、データを継続的に高度化できる基盤を持つことが、日本のものづくりにおけるヒューマノイドロボット活用の新たな競争力につながると考えています。

山善は、仕入先メーカー約 3,000 社と全国の製造業ユーザーを結ぶネットワークを活かし、コンソーシアムの拡大とユースケース開拓を推進していきます。ロボット機体（モノ）に加え、フィジカル AI データ（コト）を掛け合わせ、産業現場で真に役立つヒューマノイドロボットの社会実装を牽引してまいります。

※：国内の民間企業のみで構成される団体が運営するフィジカル AI・ロボットデータファクトリーとして日本初

◆ 「J-HRTI 関東データファクトリー」施設概要

項目	内容
施設名称	J-HRTI 関東データファクトリー
所在地	千葉県習志野市内
敷地面積	約 1,400 m ²
本格稼働日	2026 年 8 月 26 日
ロボット台数	35 台（最大 40 台まで拡充予定）
運営主体	J-HRTI（事務局：INSOL-HIGH 株式会社）

◆コンソーシアム「J-HRTI」について



J-HRTI

J-HRTI は、ヒューマノイドロボットの社会実装を民間企業のみで推進するコンソーシアムです。2026 年 3 月 26 日に設立され、「学習データの生成・共有」「実証環境の共同利用」「社会実装モデルの設計」を柱にしています。2026 年度内にヒューマノイドロボットの現場への実装を目指し、本日時点で物流・医薬品・リース・商社など幅広い業界から 5 社が参画しています。

データ整備にとどまらず、PoC から実装・運用までを見据えた"実装の型"を産業横断で確立し、導入スピードと再現性を高めます。さらに、PX（Physical AI Transformation）通じて労働構造そのものを再設計する取り組みの実現を目指し、日本のものづくり産業の生産性向上に貢献してまいります。

<「J-HRTI」参画企業>

- 運営委員：
 - ・（株）ツムラ（本社：東京都港区） <https://www.tsumura.co.jp/>
 - ・（株）ディーエムエス（本社：東京都千代田区） <https://www.dmsjp.co.jp/>
 - ・芙蓉総合リース(株)（本社：東京都千代田区） <https://www.fgl.co.jp/>
 - ・（株）山善（本社：大阪府大阪市） <https://www.yamazen.co.jp/>
- 他 1 社
- 運営委員長：
 - ・（株）山善 トータル・ファクトリー・ソリューション支社 参与 中山 勝人
- 事務局（全体設計・データ基盤運営）：
 - ・ INSOL-HIGH（株）（本社：東京都千代田区） <https://insol-high.com/>

今後も当社は、パーパスである「ともに、未来を切拓く」のもと、世界のものづくりと豊かな暮らしをリードしてまいります。

※ ニュースリリースの内容は発表時のものです。
閲覧いただいている時点では内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。